

マシジミは移動するのか？そして・・・美味しいのか？

2年 佐藤 玄人
和泉 直希

1. 目的

ある用水路では、水の流れが強いのに、マシジミが一定の場所にとどまって生活をしているのか、なぜ一定の場所に何世代にも渡り、とどまって、種を維持しているのか調べました。

2. 方法

ここで2つの方法を考えて検証を行いました。

<方法1> 100個のマシジミを実習場の近くの用水路に放して、2週間後に放したマシジミを回収してどれだけ移動しているか調べる方法。



<方法2> マシジミが生息している用水路の魚を捕まえて、水槽に入れ、餌を与えず何日か放置し、排泄物をすべて出させ、その中に稚貝が含まれているか調べる方法。

3. 結果

<方法1結果>

最初に放した地点に47個とれたのみで、上流には、移動してなくて、下流にほとんど流され、その貝達はいまだ行方不明で見つかっていません。理由は、放してから2週間の間に降った雨の影響により、貝は、ほとんどが、下流へ流されたためだと思います。

<方法2結果>

方法2により得た排泄物から一部採取し、顕微鏡で排泄物の中からマシジミの稚貝を探しましたがマシジミを見つかりませんでした。

4. 考察

この結果から考えると、自力では移動できない。そして、魚の消化酵素には、耐えられなかった事が考えられます。

※ 最後にマシジミはおいしいのか？ペペロンチーノとみそ汁を作りました。シジミの味は薄かったですが、シジミの風味はしっかりとして、普通に美味しかったです。